

平成24年度

高体連事業報告

4月14日	第187回石川県弓道定期審査（無指定）	県立武道館
4月15日	第187回石川県弓道定期審査（段位）	県立武道館
27日	第1回県高体連部長・専門委員長会議	いしかわ総合スポーツセンター
28日	石川県高等学校春季弓道大会（女子の部）	県立武道館
29日	石川県高等学校春季弓道大会（男子の部）	県立武道館
5月16日	第1回弓道部専門委員会	県立武道館
5月27日	県高校総体弓道競技個人戦地区予選	小松市弓道場
	〃	県立武道館
	〃	七尾市武道館弓道場
5月31日	県高校総体弓道競技第1日	県立武道館
6月1日	〃 第2日	〃
6月2日	〃 第3日	〃
16日	北信越高等学校体育大会弓道大会第1日	福井県立武道館
17日	〃 第2日	福井県立武道館
7月16日	国体県最終予選会	県立武道館
7月19日	全国高校総体県選手団結団壮行式	いしかわ総合スポーツセンター
	第2回県高体連専門委員長会議	〃
7月31日	全国高校総体弓道競技監督会議・開会式	長野県松本市
	委員長会議	〃
8月1日	〃 第1日	〃
2日	〃 第2日	〃
3日	〃 第3日	〃
4日	〃 第4日	〃
8月5日	第188回石川県弓道定期審査	宝達・根上町
7日	リーダー研修会（～8日）	七尾市武道館弓道場
25日	北信越国民体育大会（～26日）	福井県敦賀市
9月8日	加賀地区大会	小松市弓道場
8日	金沢地区大会	県立武道館
8日	能登地区大会	七尾市武道館弓道場
9月16日	無指定受審者講習会	県立武道館
17日	無指定受審者講習会	加賀・宝達志水・県武
9月30日	第189回級位審査会	加賀・七尾・県立武道館
10月6日	第67回国民体育大会（～9日）	岐阜県恵那市
10月28日	第190回石川県弓道定期審査	県立武道館
11月8日	石川県高等学校新人大会弓道競技第1日	県立武道館
9日	〃 第2日	〃
10日	〃 第3日	〃
11月24日	北信越高等学校弓道新人大会	新潟県上越市
11月28日	第3回県高体連専門委員長会議	青少年総合研修センター
12月24日	第31回全国高等学校弓道選抜大会（～26日）	相模原市
1月29日	平成24年度高体連功労者表彰式	総合スポーツセンター
2月1日	第2回弓道部専門委員会	金沢西高校
2月10日	石川県高等学校弓道如月大会	県立武道館
2月22日	顧問会議	金沢市立工業高校
3月10日	石川県高等学校春季錬成大会	県立武道館
3月23日	中日本大会（～24日）	岐阜県メモリアルセンター
3月24日	東日本大会（～25日）	茨城県

大会結果

県高等学校総合体育大会 5月27日(日)・5月31日(木)～6月2日(土)

小松市弓道場 七尾市武道館弓道場 石川県立武道館弓道場

《団体の部・男子》予選通過校(40射18中以上)

金沢市工、松任、大聖寺、鹿西、県立工業、小松、金沢泉丘、羽咋、津幡、小松工業

準決勝 60射32中以上が決勝リーグへ

決勝リーグ(20射)	優勝	金沢市工	(3勝0分0敗)	
	2位	羽咋	(2勝0分1敗)	
	3位	小松	(0勝1分2敗)	31中
	4位	大聖寺	(0勝1分2敗)	28中

《団体の部・女子》予選通過校(40射17中以上)

金沢桜丘、羽咋工業、小松明峰、羽咋、金沢二水、金沢市工、金沢辰巳丘、七尾東雲、小松、鹿西

準決勝 60射29中以上が決勝リーグへ

決勝リーグ(20射)	優勝	七尾東雲	(2勝0分1敗)	
	2位	金沢市工	(1勝1分1敗)	33中
	3位	鹿西	(1勝1分1敗)	31中
	4位	羽咋工業	(0勝2分1敗)	

《個人の部・男子》予選通過者(8射5中以上) 52名

準決勝 12射9中以上8名決勝へ

決勝	優勝	森下 大生	(小松)	○○○○×○
	2位	甲野 達行	(津幡)	○○○○××
	3位	三井 翔太	(金沢市工)	○○×(遠近法)
	4位	大久保 光	(津幡)	○○×(遠近法)
	5位	小原 広大	(金沢市工)	○×(遠近法)
	6位	田口 智也	(七尾東雲)	○×(遠近法)

《個人の部・女子》予選通過者(8射5中以上) 19名

準決勝 12射6中以上9名決勝へ

決勝	優勝	茶谷 麻美	(小松明峰)	○○○○○××○○○
	2位	米澤 李穂	(鹿西)	○○○○○××○○×
	3位	駒井 咲良	(羽咋)	○○×
	4位	森田 菜月	(羽咋)	×(遠近法)
	5位	中田 光世	(小松明峰)	×(遠近法)
	6位	山田 知聖	(金沢辰巳)	×(遠近法)

県高等学校新人体育大会 11月8日(木)～11月10日(土)

石川県立武道館弓道場

《団体の部・男子》予選通過校(32射15中以上)

県立工業、大聖寺実業、小松明峰、星稜、鹿西、金沢市工、羽咋工業、小松工業、大聖寺、羽咋

準決勝 48射27中以上が決勝リーグへ

決勝リーグ(16射)	優勝	羽咋	(2勝0分1敗)	35中
	2位	金沢市工	(2勝0分1敗)	34中
	3位	小松工業	(2勝0分1敗)	28中
	4位	鹿西	(0勝0分3敗)	

《団体の部・女子》予選通過校(32射10中以上)

金沢二水、金沢泉丘、金沢錦丘、金沢西、金沢桜丘、松任、小松、羽咋、県立工業、鹿西

準決勝 48射23中以上が決勝リーグへ

決勝リーグ(16射)	優勝	金沢西	(2勝0分1敗)	
	2位	金沢錦丘	(1勝2分0敗)	
	3位	松任	(1勝1分1敗)	
	4位	金沢桜丘	(0勝1分2敗)	

《個人の部・男子》予選通過者(4射3中以上) 30名

準決勝 4射3中以上9名決勝へ

決勝	優勝	釵地 龍弥	(金沢市工)	○○
	2位	川村 祥太	(金沢二水)	○×
	3位	西澤 宏幸	(金沢二水)	×(遠近法)
	4位	水口 政樹	(金沢市工)	×(遠近法)
	5位	山本 涼太	(羽咋)	×(遠近法)
	6位	出倉 敬史	(大聖寺)	×(遠近法)

《個人の部・女子》予選通過者(4射2中以上) 55名

準決勝 4射3中以上10名決勝へ

決勝	優勝	島田 夢実	(羽咋工業)	○○○○○
	2位	中手 里穂	(松任)	○○○○○×○
	3位	佐野 優花	(金沢錦丘)	○○○○○××(遠近法)
	4位	坂井 春香	(小松)	○○○○○××(遠近法)
	5位	埴崎 未緒	(金沢桜丘)	○○○×
	6位	渡辺 睦	(県立工業)	○×

北信越高等学校体育大会 6月16日(土)～17日(日)

福井県立武道館弓道場

《団体の部・男子》予選(40射) 金沢市工 27中 小松 25中 羽咋 27中 決勝トーナメントへ
決勝トーナメント (20射) 1回戦敗退
《団体の部・女子》予選(40射) 鹿西 27中 決勝トーナメントへ 金沢市工 16中 七尾東雲 15中
決勝トーナメント (20射) 1回戦敗退
《個人の部・男子》決勝進出者 なし
《個人の部・女子》決勝進出者 第3位 米澤 李穂(鹿西)× (遠近法)

北信越高等学校新人大会 11月24日(土)

上越市高田公園弓道場

《団体の部・男子》予選(24射) 金沢市工 18中 決勝トーナメントへ 小松工業 14中 羽咋 13中
決勝トーナメント (12射) 技能優秀賞 金沢市立工業高校
《団体の部・女子》予選(24射) 金沢錦丘 15中 金沢西 14中 決勝 松任 14中 決勝トーナメントへ
決勝トーナメント (12射) 第3位 松任高校

全国高等学校総合体育大会 8月1日(水)～4日(土)

松本市総合体育館 特設弓道場

《団体の部・男子》予選(20射) 金沢市工 13中 決勝トーナメントへ
決勝トーナメント (20射) 1回戦敗退
《団体の部・女子》予選(20射) 七尾東雲 4中
《個人の部・男子》予選(4射) 森下 大生(小松) 3中 準決勝へ 甲野 達行(津幡) 2中
準決勝 森下 大生(小松) 4射3中 決勝へ ○○○○× 入賞ならず
《個人の部・女子》予選(4射) 茶谷 麻美(小松明峰) 2中 米澤 李穂(鹿西) 2中

全国高等学校弓道選抜大会 12月24日(月)～26日(水)

相模原市総合体育館 特設弓道場

《団体の部・男子》予選(12射) 羽咋 3中
《団体の部・女子》予選(12射) 金沢西 2中
《個人の部・男子》予選(4射) 釧地龍弥(金沢市工) 3中 準決勝へ 川村祥太(金沢二水) 2中
準決勝 釧地 龍弥(金沢市工) 4射3中 決勝へ ×入賞ならず
《個人の部・女子》予選(4射) 中手里穂(松任) 3中 準決勝へ 島田夢実(羽咋工業) 1中
準決勝 残念でした

北信越国民体育大会 8月25日(土)～26日(日)

敦賀市総合運動公園弓道場

《少年男子》選手 水口 雄騎(金沢市工) 小原 広大(金沢市工) 三井 翔太(金沢市工)
遠的競技 141点(36射) 3位 近的競技 36射23中 4位 総合 5位
《少年女子》選手 西島美菜子(金沢市工) 湊 歌音(松任) 南野 千佳(大聖寺)
遠的競技 105点(36射) 5位 近的競技 36射13中 5位 総合 5位

*今年度の総括

県高校総体、県新人大会で優勝した団体(金沢市立工業高校以外)が全国大会において全く力が発揮できないまま予選落ちをしている。これについては、県大会で優勝というのが目標になっていて、全国大会に出場すればよい。という考え方のチームが全国大会にでていたため。また、県大会が的中のピークになっており、その後調子が下降している。(北信越大会の結果)

→ 目標を全国において入賞する。と掲げて練習する必要がある。

国体については、男女とも核になる選手がいなかった。また、早気の選手がいて安定感がなかったため、ここ一番のときに負けてしまう。

→ 選手選考を考える必要あり。また、成年との合同練習を取り入れていきたい。